

# 目 次

巻頭図版

序

## 序 章 調査研究の背景と目的

1 調査研究にいたる経緯	1
2 調査研究の目的と内容	3
3 調査の体制と報告書の執筆	6

## 第1章 四万十川流域の個性

1 はじめに	7
2 河川としての四万十川の特質	7
3 上・中・下流域を分けるもの	11
4 流域全体をまとめるもの	12
5 四万十川流域全体の個性	14

## 第2章 流域の分節と連関

1 はじめに	18
2 自然環境の概要	18
3 農業とフィジオトープ	24
4 内水面漁業と河川特性	27
5 流通往来・文化とフィジオトープ	31
6 流域一体としての関係性	36

## 第3章 変化のプロセスにみる流域の関係性

1 はじめに	37
2 林業の変遷	38
3 河川流通の変遷	47
4 連鎖する変化	51

## 第4章 景観構成要素特論

1 建築としての梶原の茶堂	53
2 沈下橋とその架橋の背景	72
3 穿入蛇行と文化的景観	80
4 港町下田の都市構造と建築	88
5 森山家住宅の建築	104

## 第5章 広域の文化的景観が有する諸問題

1 四万十川流域からみた広域の文化的景観	123
2 広域の重要文化的景観選定における行政の役割	126

巻末図版

# 図版一覧

## 巻頭図版

A	梶原町神在居	I	四万十市口屋内
B	梶原町茶や谷	J	四万十町下津井
C	津野町船戸	K	四万十町大正
D	津野町口目ケ市	L	四万十市佐田
E	中土佐町大股	M	四万十市下田
F	四万十町米奥・市生原	N	四万十市下田
G	四万十町三島	O	中土佐町久礼
H	四万十町小野	P	四万十市下田

## 本文図版

図 1-1	四万十川流域の位置	8	図 3-12	四万十町十川の渡し	50
図 1-2	全国主要河川と四万十川の河川勾配	10	図 3-13	「早瀬の一本橋」のわろう	50
図 1-3	穿入蛇行	10	図 3-14	一本橋の橋桁を結んだエノキ	50
図 1-4	四万十川流域の区域特性と流域の変化	13	図 3-15	カヌー発着場としての利用	50
図 1-5	「四万十川流域の文化的景観」全覧図	16・17	図 3-16	林業と河川流通の関係	52
図 2-1	四万十川流域の地形・地質分類	20	表 3-1	四万十川本流の定繋船	48
図 2-2	上流域の棚田	25	図 4-1	梶原の茶堂の分布	55
図 2-3	高南台地の水田とショウガ畑	25	図 4-2	茶堂の内部空間模式図	58
図 2-4	中流域小野地区の水田	26	図 4-3	川西路の茶堂全景	60
図 2-5	下田のラッキョウ畑	26	図 4-4	川西路の茶堂小屋組	60
図 2-6	四万十川流域での漁業権の管理団体	27	図 4-5	川西路の茶堂内部	60
図 2-7	四万十町大正での火振り漁	28	図 4-6	川西路の茶堂 平面図 1：100	60
図 2-8	火振り漁で立網にかかったアユ	28	図 4-7	川西路の茶堂 断面図 1：100	60
図 2-9	ウバサミ	29	図 4-8	町組の茶堂全景	61
図 2-10	カニカゴ	29	図 4-9	町組の茶堂小屋組	61
図 2-11	スジアオノリ漁	30	図 4-10	町組の茶堂 断面図 1：100	61
図 2-12	天日干しされるスジアオノリ	30	図 4-11	町組の茶堂 立面図 1：100	61
図 2-13	ヒトエグサの採取	30	図 4-12	町組の茶堂 平面図 1：100	61
図 2-14	ヒトエグサの出荷	30	図 4-13	田野々の茶堂全景	62
図 2-15	盆の迎え火	33	図 4-14	田野々の茶堂内部	62
図 2-16	仁井田神社秋季大祭での神楽	33	図 4-15	田野々の茶堂軒廻り	62
図 2-17	西区三嶋神社の牛鬼	34	図 4-16	田野々の茶堂 平面図 1：100	62
図 2-18	不破八幡宮の神輿洗い	34	図 4-17	田野々の茶堂 断面図 1：100	62
表 2-1	四万十川流域の代表的な地質	19	図 4-18	本も谷の茶堂全景	63
表 2-2	四万十川の代表的な魚類	23	図 4-19	本も谷の茶堂内部	63
表 2-3	四万十川で見られる魚種ごとの漁法と漁期	29	図 4-20	本も谷の茶堂 断面図 1：100	63
図 3-1	天然林の伐採	39	図 4-21	本も谷の茶堂 立面図 1：100	63
図 3-2	荷馬車による輸送	39	図 4-22	本も谷の茶堂 平面図 1：100	63
図 3-3	森林軌道の位置	40	図 4-23	茶や谷の茶堂全景	64
図 3-4	中津川からの材が集まる大奈路土場	41	図 4-24	茶や谷の茶堂内部	64
図 3-5	藤の川官行斫伐事業所	41	図 4-25	茶や谷の茶堂 断面図 1：100	64
図 3-6	黒尊川口に架かる黒尊林道の軌道橋	41	図 4-26	茶や谷の茶堂 立面図 1：100	64
図 3-7	大正林道下津井線の佐川橋	41	図 4-27	茶や谷の茶堂 平面図 1：100	64
図 3-8	梶原町の国有林分布	44	図 4-28	中の川の茶堂全景	65
図 3-9	四万十町下津井附近での管流し	47	図 4-29	中の川の茶堂内部	65
図 3-10	四万十市江川崎附近での筏流し	47	図 4-30	中の川の茶堂 平面図 1：100	65
図 3-11	舟航区間と中継地の関係	48	図 4-31	文丸の茶堂全景	65

図 4-32	文丸の茶堂内部	65	図 4-83	下田港水戸之全景	99
図 4-33	文丸の茶堂 平面図 1:100	65	図 4-84	現在の水戸地区と下田内港の様子	99
図 4-34	松谷の茶堂全景	66	図 4-85	昭和初期の下田地区	100
図 4-35	松谷の茶堂内部	66	図 4-86	現在の下田地区	100
図 4-36	松谷の茶堂 平面図 1:100	66	図 4-87	柿谷家住宅の通り景観（南東から）	102
図 4-37	松谷の茶堂 断面図 1:100	66	図 4-88	南宗寺に向かう道沿いの煉瓦塀	102
図 4-38	六丁の茶堂全景	67	図 4-89	下田地区の通り景観（北西から）	102
図 4-39	六丁の茶堂内部	67	図 4-90	川辺に向かう道沿いのバラスブロック	102
図 4-40	六丁の茶堂 断面図 1:100	67	図 4-91	森山家住宅の位置	104
図 4-41	六丁の茶堂 立面図 1:100	67	図 4-92	森山家住宅正側面（北東から）	104
図 4-42	六丁の茶堂 平面図 1:100	67	図 4-93	森山家住宅背面（北西から）	104
図 4-43	井高の茶堂全景	68	図 4-94	森山家住宅二階屋の基礎	105
図 4-44	井高の茶堂側面	68	図 4-95	森山家住宅オモヤ、カマヤ背面	105
図 4-45	井高の茶堂 断面図 1:100	68	図 4-96	森山家住宅主屋正面（南東から）	106
図 4-46	井高の茶堂 立面図 1:100	68	図 4-97	森山家住宅主屋正面（北東から）	106
図 4-47	井高の茶堂 平面図 1:100	68	図 4-98	森山家住宅ミセ土間	106
図 4-48	上折渡の茶堂全景	69	図 4-99	森山家住宅奥の土間	106
図 4-49	上折渡の茶堂内部	69	図 4-100	森山家住宅ミセ	107
図 4-50	中平の茶堂全景	69	図 4-101	森山家住宅イマ	107
図 4-51	中平の茶堂 平面図 1:100	69	図 4-102	森山家住宅ザシキ	107
図 4-52	中平の茶堂内部	69	図 4-103	森山家住宅オモヤ小屋組	107
図 4-53	松原の茶堂全景	69	図 4-104	森山家住宅オク正面の煉瓦塀	108
図 4-54	松原の茶堂内部	69	図 4-105	森山家住宅カマヤ内部	108
図 4-55	松原の茶堂 平面図 1:100	69	図 4-106	森山家住宅米蔵正側面	109
図 4-56	架橋中の屋内大橋	73	図 4-107	森山家住宅米蔵背面	109
図 4-57	現在の屋内大橋	73	図 4-108	島村重助家住宅平面図・断面図（1/250）	110
図 4-58	橋脚設置後の高瀬橋	73	図 4-109	島村重助家住宅	110
図 4-59	現在の高瀬橋	73	図 4-110	弘井家住宅	110
図 4-60	旧高樋堰を利用した本流最上流の沈下橋	75	図 4-111	柿谷家住宅正面	110
図 4-61	河原と住民を結ぶサワタリ沈下橋	75	図 4-112	柿谷家住宅ザシキ	110
図 4-62	沈下橋の位置	76	図 4-113	森山家住宅 屋根伏図 1:200	113
図 4-63	四万十川流域本流の沈下橋 断面図 1（1:1600）	77	図 4-114	森山家住宅 配置平面図 1:200	114
図 4-64	四万十川流域本流の沈下橋 断面図 2（1:1600）	78	図 4-115	森山家住宅 立面図 1:150	115
図 4-65	四万十川流域本流の沈下橋 断面図 3（1:1600）	79	図 4-116	森山家住宅 敷地断面図 主屋オモヤ 1:100	116
図 4-66	下津井地区全景	80	図 4-117	森山家住宅 敷地断面図 主屋カマヤ 1:100	116
図 4-67	環状丘陵の形成過程	80	図 4-118	森山家住宅 1階平面図 1:100	117
図 4-68	昭和 38 年ごろの田野々地区	81	図 4-119	森山家住宅 2階平面図 1:100	118
図 4-69	環状蛇行跡の分布	81	図 4-120	森山家住宅 主屋オモヤ縦断面図 1:75	119
図 4-70	竜王宮に寄進された船	85	図 4-121	森山家住宅 主屋オモヤ・カマヤ 1:75	120
図 4-71	環状蛇行跡 1 久保谷地区	86	図 4-122	森山家住宅 主屋オモヤ座敷部断面図 1:75	121
図 4-72	環状蛇行跡 2 下津井地区	86	図 4-123	森山家住宅 主屋カマヤ断面図 1:75	121
図 4-73	環状蛇行跡 3 江師地区	87	図 4-124	森山家住宅 米蔵平面図 1:100	122
図 4-74	環状蛇行跡 4 田野々地区	87	図 4-125	森山家住宅 米蔵断面図 1:75	122
図 4-75	現在の下田の地区構成と小字境界	89	表 4-1	梶原の現存茶堂一覧	54
図 4-76	下田浦支配灘掛り之図	93	表 4-2	保存対象の沈下橋一覧	76
図 4-77	「下田浦支配灘掛り之図」釈文	93	表 4-3	四万十川本流の沈下橋の構造	76
図 4-78	幡多郡下田浦図	94・95	表 4-4	四万十川流域に分布する蛇行丘の特性	82
図 4-79	安永年間下田復原図	95	図 5-1	流域共通デザインで設置されたサイン	126
図 4-80	下田浦風景図	97	図 5-2	四万十街道ひなまつり	127
図 4-81	明治 39 年測図明治 41 年発行 5 万分の 1 地形図	98	図 5-3	5 市町連携シンポジウム	127
図 4-82	平成 11 年要部修正平成 12 年発行 5 万分の 1 地形図	98			

## 卷末図版

1・2	津野町船戸	15	四万十市岩間
3	津野町樺の川	16～18	四万十町下津井
4	津野町貝ノ川	19・20	四万十市奥屋内
5	椿原町茶や谷	21・22	四万十市口屋内
6	椿原町椿原	23	津野町芳生野
7	四万十町大正中津川	24	四万十町上岡
8	椿原町川西路	25	四万十市岩間
9・10	中土佐町奈路	26	四万十市中村大橋通
11	椿原町竹の藪	27～35	四万十市下田
12・13	四万十町壺斗俵	36	四万十市間崎
14	四万十町河内	37	四万十市実崎

## 例言

- 1 本書は、奈良文化財研究所が、平成18年度から平成22年度の奈良文化財研究所第2期中期計画において位置づけられた文化的景観に関する調査研究のうち、四万十川流域の文化的景観に関する調査研究の成果をまとめたものである。
- 2 本書は、文化遺産部景観研究室員が分担して執筆すると共に、第5章第2節については、奈良文化財研究所の依頼により、高知県教育委員会文化財課の溝渕博彦氏が執筆した。各執筆分担は序章第3節に記した。
- 3 巻頭図版、巻末図版の写真は、津野町、椿原町、中土佐町、四万十町、四万十市からの委託により当研究所恵谷浩子の同行、助言のもとで西大寺フォトの杉本和樹氏が撮影した。本書の掲載にあたっては五市町からの許可を得た。
- 4 挿図・表の作成とレイアウトに際して、御田智美、北野陽子、杉本陽子、玉木学恵、中川美奈、松本康隆、山下侑子の協力を得た。
- 5 調査および本書刊行に際しては、津野町、椿原町、中土佐町、四万十町、四万十市の各関係機関・諸氏のご協力を得た。
- 6 本書の編集は、清水重敦（文化遺産部景観研究室長）の指導のもとに恵谷浩子（文化遺産部景観研究室研究員）が担当した。